

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

えんぷくじあと

## 延福寺跡

新高総早倉矢井浅里  
見梁社島敷掛原口庄  
市市市町市町市町

笠岡市



場所

かさおかし はしりて  
・笠岡市走出



時代

へいあんじだい  
・平安時代



指定年月日

しょうわ  
・昭和36(1961)年  
10月4日



所有

じほういん  
・持宝院



し せき

### この史跡について

げんざい じほういん ぼしょ えん えんぶくじ じいん へいあんじだい  
現在、持宝院のある場所には、かつて延(または円)福寺という寺院がありました。平安時代に  
ひら じいん つた なんぼくちようじだい えんぶくじ やまかつせん せんじよう むろまち  
開かれた寺院だと伝わっています。南北朝時代には「延福寺山合戦」の戦場となりました。室町  
じだい おだのりきよ ほんしろう きしん おだし う 受け さか  
時代には小田乗清が梵鐘を寄進していることから分かるように、小田氏の後ろだてを受けて栄  
えていました。しかし、延福寺は江戸時代初め頃には衰えたようです。そして、延福寺の跡に井  
ほらし じほういん いてん こんち いた  
原市にあった持宝院が移転してきて、今日に至っています。